

★エコモビコラム1★ 「エコモビリティライフ」(エコモビ)とは

「エコモビリティライフ」(略して「エコモビ」)とは、環境(エコロジー)の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマ(自家用車)と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルをいいます。

愛知県は、クルマの保有台数が全国一で、東京や大阪などの他の大都市圏に比べてクルマの利用が多い交通体系となっています。

クルマは非常に便利で、生活に不可欠な交通手段ですが、クルマへの過度な依存は、地球温暖化や交通事故、中心市街地の空洞化や渋滞などの問題にもつながります。

「エコモビ」を推進することにより、こうした問題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指しています。

★エコモビコラム2★ 「エコモビ」のメリット～CO₂の削減・健康の増進

「エコモビ」を実践することで、次のようなメリットが期待できます！

【CO₂の削減】

家庭から排出されるCO₂の約4分の1がクルマによるもので、大きなウエイトを占めています(クルマからのCO₂排出量は1世帯当たり年間約1,300kg[平成25年度])が、例えば、1日10分クルマの利用を控えると、年間で約588kgのCO₂が削減できます。これは冷房を1度高く、暖房を1度低く設定した場合のCO₂削減量の約20倍にもなります。クルマの利用を少し控えることで、節電と比較しても大きなCO₂削減効果が得られます。

【健康の増進】

クルマで約25分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約2倍になります(40歳代男性の場合で、往復のカロリー消費量70⇒142kal)。クルマ通勤者はエコ通勤者に比べて約1.5倍、肥満の割合が高いというデータもあります。クルマ通勤をエコ通勤に転換するなど、「エコモビ」の実践は健康増進にもつながります。

★エコモビコラム3★ 「エコモビ」のメリット～渋滞の緩和・交通事故リスクの軽減

「エコモビ」を実践することで、次のようなメリットが期待できます！

【渋滞の緩和】

朝夕の通勤時間帯などでは自動車交通が集中し、渋滞の原因となっています。渋滞は道路の通過可能量を超えるクルマの通行により発生しますが、その超過分は数%から10数%程度といわれています。クルマ通勤からエコ通勤への転換などでクルマの通行量が数%減少するだけでも、地域の渋滞緩和につながります。

【交通事故リスクの軽減】

運転免許を持っている方の実に3人に1人が一生のうちに交通事故(人身)を起こすというデータがあります(運転免許の保有期間を50年で計算)。この数字には、免許を持っていて運転をされない方も含まれていますので、普段、クルマを利用する方の交通事故のリスクはさらに高まることとなります。日頃から「エコモビ」を実践することは、こうしたリスクの軽減にもつながります。

★エコモビコラム4★ 「エコモビ」を実践しよう！

普段何気なくクルマで移動されている方でも、他の交通手段に変えてみることで、かえって早く着いたり、安全に楽に移動できたりするかもしれません。自分にとってどんな方法で行くのがよいか、クルマ以外の手段も考えてみてはいかがでしょうか。

【鉄道】

定時性に優れる鉄道での移動であれば、渋滞に巻き込まれることもなく、スムーズに目的地にたどり着けます。経路検索サイトを使えば、時刻や乗換なども簡単に調べることができます。最寄り駅までの距離が遠く、駅までのバス路線などがなくても、最寄り駅までクルマで行くパーク&ライドの方法があります。

◇パーク&ライド駐車場情報（ウェブページ中段）

<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/practice/action.html>

【バス】

バスでの移動も考えることで、クルマ以外で移動できる範囲が広がります。経路検索サイトではバス路線が検索できない場合もありますが、次のサイトから簡単にバス路線を調べることができます。

◇路線図ドットコム（県内各地域） <http://www.rosenzu.com/>

◇なごや地図ナビ（名古屋市バス） <http://map.kotsu.city.nagoya.jp/map/>

◇みちなびとよた（豊田市内） <http://www.michinavitoyota.jp/portal/index.html>

また、最近では、バスの運行情報を携帯電話やパソコンから確認することができるバスロケーションシステムの導入が進んでおり、バスの位置や遅れの情報などを簡単に知ることができます。

◇名鉄バスロケーションシステム <http://www.meitetsu-bus.co.jp/rosen/location/>
など

【自転車】

自転車は、環境にやさしく、健康にもよい、低コストの移動手段です。5 km程度の短距離の移動であればクルマなど他の手段よりも所要時間が短いといわれています。いつもクルマで通う道を自転車で行ってみることで、渋滞なくスムーズに目的地に着けたり、途中で街の新しい魅力を発見できたりするかもしれません。自治体によっては自転車の購入に補助が出るところもあります。

【クルマ】

クルマでしか行けないところでも、エコドライブを実践することで燃費が向上したり、交通事故のリスクを減らしたりすることができます（エコドライブの実践で約10%の燃費向上、交通事故半減というデータも）。

◇環境省 エコドライブプロジェクト

<https://funtoshare.env.go.jp/ecodriver/index.html>

また、近年、カーシェアリング（クルマを所有せず、多数の人でクルマを共同利用するシステム）のステーションの数も増加し、利用しやすくなっています。近くにステーションがなくても、目的地近くまで公共交通で行き、そこからカーシェアリングを利用するという方法もあります。

◇エコモビウェブサイト（知って得するエコモビ実践ガイド）

<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>

◇エコモビを紹介する動画を配信しています！

http://www.doga.pref.aichi.jp/archive/ch3/kensei/mov/ken_09.html

この「エコモビコラム」は、毎月第1水曜日「エコモビの日」の前日に、あいちエコモビリティライフ推進協議会の構成員及び「エコモビ実践キャンペーン」参加事業所あてに「エコモビ」関係の情報提供を目的に配信している「あいちエコモビメールニュース」（第83号～86号）から抜粋したものです（「エコモビコラム」は27年12月まで。配信後、随時更新予定）。従業員の皆様への「エコモビ」情報周知にご活用ください。

※ エコモビコラム作成にあたり、エコモビWebサイト掲載内容のほか、以下の資料を参考にしました。

- ・国土交通省Webサイト
- ・環境省Webサイト
- ・全国地球温暖化防止活動推進センターWebサイト
- ・交通工学研究会 『『交通渋滞』徹底解剖』